

ゲルマニウムの夜 (2005)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 107分
初公開日 2005/12/17
公開情報 荒戸映画事務所

【解説】
花村萬月の芥川賞受賞作を、「赤目四十八瀧心中未遂」の荒戸源次郎製作総指揮の下映画化した衝撃のドラマ。監督は俳優・磨赤兒の息子で、助監督として実績を積み本作で長編デビューとなる大森立嗣。主演は「青い春」「隣人13号」の新井浩文。かつて、鈴木清順監督の「ツィゴイネルワイゼン」で“シネマ・プラセット”という前代未聞の上映形態で話題を集めた荒戸プロデューサーが、今度は上野公園東京国立博物館敷地内に“一角座”という劇場を開設、本作を最低でも6ヵ月間ロングランすることをあらかじめ確約して上映するという意欲的な試みを実施された。
教会の教護院に舞い戻ってきた青年・朧。ゲルマニウムラジオから流れてくる“神の囁き”を聴く朧は、欲望のままに冒涇の限りを尽くす。だが、それは宗教を試し、神の存在を問うているかのようでもあった。

【クレジット】		
監督	大森立嗣	
製作総指揮	荒戸源次郎	
エグゼクティブプロデューサー	前田章紘	
プロデューサー	村岡伸一郎	
原作	花村萬月	『ゲルマニウムの夜』 (文藝春秋刊)
脚本	浦沢義雄	
撮影	大塚亮	
美術	金勝浩一	
編集	奥原好幸	
音楽	千野秀一	
スーパーバイザー	羽仁未央	Mio Hani
照明	館野秀樹	
録音	阿部茂	
出演	新井浩文	朧
	広田レオナ	Leona Hirota テレジア
	早良めぐみ	教子
	木村啓太	トオル
	大森南朋	宇川
	津和孝行	北
	大楽源太	隊長
	山本政志	赤羽修道士

三浦哲郁
磨赤兒
石橋蓮司
佐藤慶

荒川
老店主
小宮院長
戸川神父